

新刊紹介

『地元経済を創りなおす』

—分析・診断・対策—

枝廣 淳子 著

地域に根差した都市ガス事業者にとって、少子高齢化等により明るい未来像を描きづらい地域経済をいかに伸ばすかは、大きなテーマだろう。本書では、「地方創生のトップランナー」と言われる島根県の隠岐諸島中ノ島の海士町（あまちよ

う）で街づくりをサポートしたこともある著者が、地域経済立て直しの方法論を具体的に示した。

地域経済は「漏れバケツ」に例えることができるといふ。多くの自治体は、政府補助金、大企業誘致、観光客呼び込みに懸命だが、それはバケツに入る水を増やすことに過ぎない。バケツの底に穴があき、せつかくの資

金が域外の事業者やメーカーなどに流れ、外に漏れ出しているところこそが問題だと指摘する。

実は、その漏れの割合は、定量的にキャッチできる。政府の「まち・ひと・しごと創生本部」と経済産業省の「地域経済分析システム（RE SAS）」のウェブサイトに

ある「地域経済循環マップ」だ。本書では、こうしたツールを使って、地域全体の漏れの度合いを知る方法、地域内のごでどれくらい漏れているかさらに詳細を知るた

めの方法、身近な「漏れ穴」をふさぐ方法をステップごとに説明する。「最大の漏れ穴」のエネルギーによる漏れをふさぐための「地域再エネ」にも紙数を割いた。

こう書くと難しそうだが、内外の先進的事例を直接取材し、どうやって地域経済の立て直しに成功したか、キーマンの肉声も含めて紹介している。楽しくてためになる本だ。

岩波書店。780円（税別）。新書判。209ページ。



岩波書店。780円（税別）。新書判。209ページ。